

PO法人 母力向上委員会 コンビニ発の子育て支援事業の経緯

● 2014年 12月 「第9回企業&NPO協働アイデアコンテスト」最優秀賞受賞。

一番身近なコンビニが子育てママたちにとって便利ではないという現状に注目し、コンビニを子育ての仲間にするべくベビーステーション機能の構築や独自の商品開発を提案。



←2014年12月名古屋で行われた
最終選考会にて最優秀賞を受賞。

● 2015年 4月 富士宮市より事業受託。

受賞を受け、富士宮市企画戦略課(当時未来企画課)より、市の地方創生事業の一つとして富士宮市とNPO法人 母力向上委員会(当時任意団体)協働での事業推進を提案頂き受託。

● 2015年 5月 特定非営利活動法人 中部プロボノセンターの支援開始。

協働アイデアコンテスト主催者である中部圏社会経済研究所・パートナーシップサポートセンターによる受賞5団体へのフォローアップ会(2015年3月)で特定非営利活動法人 中部プロボノセンター(中部プロボノ)戸成司朗代表理事と出会い、プロボノ支援を要請。2015年5月より約半年間の支援が決定。

※特定非営利活動法人 中部プロボノセンター

社会課題を解決しようとする非営利活動を行う団体に対して、社会人の持つ知識・技能・経験を適切に提供することにより、非営利活動団体の事業活動をいっそう向上させることを通じて社会に貢献をすることを目的に活動。

● 2015年 6月 中部プロボノ キックオフミーティング開催。

月に1回富士宮市と名古屋市を行き来し、定例アドバイザー会を実施。グループウェアやSNSにより進捗報告、相談等を行う

富士宮市との定例会開始。

月に1回富士宮市役所での定例会を実施。



↑名古屋ルーセントタワーでのミーティングの様子。子連れで実施。



↑富士宮市との定例会の様子

● 2015年 7月 中部プロボノ支援により母力向上委員会の法人化を検討開始。

● 2015年 8月 富士宮市・母力向上委員会・中部プロボノセンター3者による合同ミーティング開催。



←富士宮市総合福祉会館で行われた3者
合同ミーティングの様子

プロジェクトの優先順位を「ふじのみやベビーステーション」に設定し具体的検討に入る。
富士宮市内コンビニ全件を対象に乳幼児向け商品・設備の訪問調査、オーナーヒアリングを実施。

乳幼児ママに対して、コンビニ利用に関するアンケート、座談会でのヒアリング、ママバックの調査を実施。

調査・分析から、おむつ替えの場としてコンビニを利用したいというニーズや、ミルク用のお湯を店舗で提供してもらうなどで、ママバックの重さが約1/3軽減らすことができるのがわかり、「紙おむつの販売」「ミルクのお湯提供」をがコンビニにおけるベビーステーションの機能の必須条件とする。



↑訪問調査の様子



↑ママバックの中身

● **2015年 10月 中部プロボノ中間報告会**

「コンビニ発」を「ふじのみやベビーステーション」事業の核に設定。
コンビニ各社本部へ、「ふじのみやベビーステーション」の協定締結に向けてアプローチ開始。

● **2015年 11月 「第10回企業&NPO協働アイデアコンテスト」にて、受賞後の経緯をプレゼン**

富士宮市内セブンイレブン5店舗にて試験運用開始

セブンイレブン富士宮外神店他4店舗にて、ミルクのお湯提供、紙おむつの販売を実施。

● **2015年 12月 中部プロボノ最終報告会(公式支援終了)**

● **2016年 1月 「ふじのみやベビーステーション」スタートを2016年7月スタートに設定**

登録管理・運営の具体的検討開始。
愛称を「ふじのみやベビ・ステ」と定め、認知広報戦略、ロゴマークデザインを開始。

● **2016年 4月 母力向上委員会 法人化。任意団体から、NPO法人 母力向上委員会へ**

● **2016年 5月 コンビニ各社と「ふじのみやベビーステーション事業協力に関する協定」締結**

5月24日(火)、富士宮市役所にて協定締結式を開催。

● **2016年 6月 富士宮市内コンビニ加盟店に向けた登録講習会開催。**

6/13(月)・6/17(金) 富士宮市役所にてコンビニ加盟店及び関係者各位に向けた講習会を開催。

● 2016年 6月 **ふじのみやベビーステーション登録受付開始**

富士宮市市民交流課にて申請受付開始。母力向上委員会にて順次認定を行い、登録へ。

● 2016年 7月 **ふじのみやベビーステーション 運用開始**

登録店舗にてふじのみやベビーステーションとしての運用をスタート。